

Bibliophiles

ビブリオファイル No.4(2019年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



『2020 大学ランキング』『大学図鑑 2020』をご紹介します!

どちらも大学選びの際の参考になります。『ランキング』の方は、客観的な「データ」を中心に大学を評価します。例えば、「偏差値」「就職率」「資格試験合格率」といった尺度から、その大学の特徴を浮き彫りにします。これに対して『図鑑』の方は、主観的な「大学生の生の声」から大学の姿を描きます。実際の大学生への聞き取り調査を元に、「その学校の学生の気風」とか「単位の取りやすさ」「就職活動の際の苦労話」などを書いています。

『ブリタニカ国際年鑑 2019』

ご存知、「百科事典の代名詞」ブリタニカです。百科事典の方は、情報が常に新鮮なウェブに負けてしまってもう作られていませんが、この「年鑑」の方は調べ学習等に重宝します。去年あった出来ごとやニュース、流行った映画や音楽などをバッチリまとめていますし、2018年時点での日本や世界の国々のデータがこの1冊で読めるのですからね。「去年、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたけど、その理由って何だっけ?」なんて思ったらこの本を。ウェブより確かな情報ですよ。

『世界一わかりやすい俳句の授業』 夏井いつき

国語の授業で有名な俳句を読んで観賞したことは、誰でもありますね。でも、例えば野球を一度もやったことがなければ、野球を観戦してもイマイチ面白さが分からないですよ。俳句も同じです。TVでも人気の俳人によるこの本を読んで、まずは自分自身が俳句の作り方の秘訣を学んでみませんか。ちなみに作者によれば、俳句を作ることを覚えると、日々起こること全てが俳句のネタになって、人生から「退屈」がなくなるそうですよ。

『ウチら棺桶まで 永遠のランウェイ』 kemio

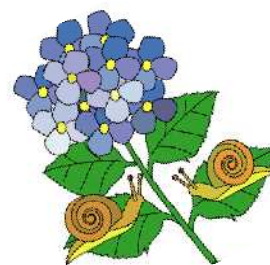
YouTubeでの「オネエ系」の軽快なしゃべり口が若者を中心に絶大に支持されているkemio。SNSでの発信を始め、モデルや歌手としても活躍する彼が初めて本が出しました。ジャンルの「エッセー集」で、色んなことを話題に彼の人生哲学を熱く語っています。ちなみに、恋愛に関しては今の彼は男性のみを愛する「ゲイ」だそうですが、以前の彼はそのことを公表していませんでした。その訳は?

『作りながら覚える 3日で作曲入門』 monaca:factory

音楽が好きな人なら「自分も作曲できたらなあ」と思ったことが1回くらいあるかも。この本は、「音楽理論を勉強してから作曲する」という従来の作曲入門書とは真逆で、いきなり作曲させられます!超初心者でも作曲ソフト(無料でダウンロードできます)に触れながら、簡単に曲が作れちゃう本、いかがですか?

名作の文庫本、色々入っています!

パリのシンボルのひとつ、ノートルダム大聖堂が火災にあったのは記憶に新しいところですが、ここを舞台にしたユゴーの『ノートルダム・ド・パリ』の新訳が入りました。劇団四季によるミュージカル『ノートルダムの鐘』の原作本です。原作はミュージカル版とも映画版ともストーリーが違いますので、是非お試しを。『クマのプーさん』で有名なA・A・ミルンが書いたミステリー『赤い館の秘密』。なんと、かの江戸川乱歩がミステリー史上の「現在の私のベスト・テン」のひとつに選んだ名作です。綾辻行人『時計館の殺人』も傑作の評価が高いミステリーで、巻末の米澤穂信のこの作品への愛情あふれる解説も見どころです。最後にダーウィンの『種の起源』。「進化論」を初めて提唱した生物学の古典ですが、ダーウィン自身「進化」という言葉を使ってませんので、ご注意下さい。



『鹿の王 水底の橋』上橋 菜穂子

生徒のリクエストで購入しました。2015年に本屋大賞を受賞した『鹿の王』の続編です。やはり作者お得意のサスペンス満載のファンタジーですが、今回の主人公は天才医師ホッサル。医療やひとの命がテーマとなっており、前作とは違った感動が待っていますよ。

『日本人のおなまえっ! 日本がわかる名字の謎』 NHK番組制作班

クイズです。以下の名字のうち異質なものはどれでしょう?①北村②今村③中村・・答えは③中村なのですが、なぜそう言えるのかは本を読んでもお楽しみ、ということをお願いします。名字を元に歴史や文化の奥深さを探る、人気のテレビ番組が本になりました。

『大草原のローラ物語—パイオニア・ガール』

ローラ・I・ワイルダー NHK・BSで再放送しているTVドラマシリーズ『大草原の小さな家』。その元となったのが、作者ローラによるこの覚え書きなのです。ほぼ全てのページに詳細な解説を付け、写真や挿絵も豊富で『大草原』ファンの愛蔵版のような作りになっています。

今号のひとこと

Et tu, Brute? ブルートゥスよ、お前もか。

ガイウス・ユリウス・カエサル(100BC-44BC)

あまりにも有名な言葉で、カエサルが死の間際に裏切り者の名を口にしたいと言われられています。

でも原文を見て下さい。**Brutus**ではなくて**Brute**ですよ。これはラテン語の名詞は格変化するからで、**Brute**は「呼格」。「ブルートゥスよ」という格なんです。ほかにも**Brutus**「ブルートゥスは」**Bruti**「ブルートゥスの」**Brutum**「ブルートゥスを」などと活用します。

英語はラテン語と同じく「インド・ヨーロッパ語族」なので昔はこうした格変化があったのですが、代名詞以外は消滅したのです。簡単になった英文法、万歳!!